

平成31年度

# 鹿嶋市教育行政運営方針

鹿嶋市教育委員会



# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (重点施策)	予算額 (千円)	担当
1 学び高め合い、 生きる力を育む 学校教育の推進	(1) 幼児教育の充実	<b>[1]幼稚園、保育園、認定こども園の再配置計画の策定</b> (1)② 現在、0歳から2歳の年齢帯において、待機児童が出ている(平成30年10月現在の待機児童 40名)一方、3歳以上の年齢帯は、定員に余裕が生じています。また、施設については大船津保育園、波野幼稚園、三笠幼稚園は老朽化が激しく、宮下保育園は震災による液状化により定期的に多大な維持補修費が発生する状態にあります。 この状況を踏まえて、中長期的な教育・保育のニーズと民間保育施設の整備計画を考慮した公立施設の再配置計画を策定し、計画的な整備を図ります。 ■公立幼稚園・保育園再配置計画の策定 ■計画に基づいた新入園児の募集	-	幼児教育
	① 子育て支援事業の実施			
	② 幼稚園・保育園・認定こども園連携による幼児教育の推進			
	③ 公立・私立幼保が連携した小学校教育への円滑な接続			
	④ 預かり保育の充実	<b>[2]オリンピック教育の推進</b> (2)①(5)② 2020年東京オリンピックのサッカー競技が鹿嶋市で開催されることを教育の絶好の機会ととらえ、オリンピック競技のトップアスリートを夢先生として、2カ年計画で全ての市内公立小中学校に派遣します。 この取組を子どもたちの心に残るレガシーとして、その後のキャリア教育・インクルーシブ教育・国際理解教育・健康教育につなげていきます。 ■夢先生派遣：公立中学校5校(H30完了) ■夢先生派遣：公立小学校12校(H31) ■オリンピック・パラリンピック教育実施校 17校認証	7,879	教育指導
	(2) 豊かな心の育成			
	① 様々な体験活動を活かした学びの充実			
	② 家庭・学校・地域が一体となった道徳教育の推進			
	③ 人権教育の充実	関連：[22]青少年の体験・健全育成活動の推進 ・宿泊共同学習の実施(小学4年生)  ・「マナーアップ運動」の実施 ・子ども会、青少年育成市民会議、ガールスカウト等各種団体活動の奨励  ・児童生徒・保護者・教職員の人権意識の現況把握と人権教育の推進体制の充実 ・教職員の人権教育の計画的、継続的な研修の実施  ・スポーツ大会出場報奨金(10千円/人 50千円/団体) ・鹿嶋市教育会事業報奨金(部活動全国大会、関東大会参加事業500千円/校) ・芸術文化大会出場奨励金(10千円/人 50千円/団体)	-	社会教育指導 ・中央公民館推進
	④ 体育・文化的課外活動等の奨励及び支援の充実			
	(3) 健やかな体の育成			
	① 食育の実施と学校給食における地産地消の更なる取り組み			
② 体力や運動能力向上を目指す学校体育活動の充実	<b>[3]安全安心な給食の提供・食育活動の実践</b> ①③ 食で育む健康な体、豊かな心を養うことを目指し、学校での専門的指導や給食指導、学級活動の場における食育活動を推進するとともに、郷土愛醸成のため地元生産者の協力の下、学校給食における地産地消を推進します。 また、適切な施設管理を行い、安全安心な給食を提供します。 ■各小中学校での栄養教諭訪問による食育及び栄養指導の実施 ■学級担任による給食の時間における食に関する指導の実施 ■地元産食材(しらす)使用の献立(2回/年) ■アントラース食育推進事業	328,477	給食センター	
③ 健康教育の推進				
・関係機関と連携し、「薬物乱用教室」等を開催				-

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (重点施策)	予算額 (千円)	担当
1 学び高め合い、 生きる力を育む 学校教育の推進	(4) 確かな学力の保障	<b>[4]主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善</b> 1(4)①2(4)①② 2020年度から実施される新学習指導要領では、学習の基礎となる資質・能力を育成して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。鹿嶋市はこれに先駆け、平成26年度より授業の質の向上を目指した授業改善プロジェクトに取り組んできました。引き続き教職員の指導力の向上を通して児童生徒の学力向上を目指します。 ■鹿嶋市授業改善プロジェクト：3回 ■鹿嶋市情報教育研修会（プログラミング教育）：6回 ■平成31年度全国学力・学習状況調査の実施（国語、算数数学、英語（中3））：全国平均・県平均以上	1,947	教育指導
	① 鹿嶋市授業改善プロジェクトによる授業の推進			
	② 小学校高学年における専門性を生かした学習指導の充実			
	③ 少人数教育によるきめ細かな指導の推進			
	④ 学力調査の結果分析と活用			
	⑤ 小中学校での英語教育の充実	<b>[5]系統的な英語教育体系の構築と推進</b> 1(4)⑤(7)②③2(1)⑦ 英語教育特区としての取組を踏まえ、保幼小中が連携する一貫した英語教育推進体系を構築し、授業において「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランス良く育成することを重視し、積極的に英語を使用する意識を醸成します。 また、オリンピック開催に向けた市独自のカリキュラムを作成し、子どもたちが訪日客と積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、英語力の向上を目指します。 ■検証テストの実施とその手法の検討 ・調査・スコア型技能検定〔GTEC：中2〕・英語能力判定テスト〔英検IB A：中3〕 ※平成32年度中学校3年生時英検3級以上割合：50%以上 ■ALT配置（小中学校15名、幼児施設定期訪問） ■英語力向上スーパーバイザー（指導主事のALT）1名配置 ■イングリッシュサポーター（英語専科教員）4名配置 ■教職員研修（英語版授業改善プロジェクトの推進） ■各種事業の実施(7)②③	85,188	教育指導
	(5) 時代の要請に応える教育の推進			
	① ICT機器を活用した情報教育の充実			
	② コミュニケーション能力の育成			
	③ 主権者教育、消費者教育、環境教育、男女平等教育等の充実			
	④ 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進	<b>[6]ICT教育環境の充実</b> (5)① ICTの活用により、わかり易い授業、学習の効率化、校務の効率化、共同学習を推進し、児童・生徒の情報活用能力を高めるために必要となる機器を小中学校に導入します。 【タブレット】 H30：中学校5校…225台（各校45台） ■H31：小学校6校…246台（各校41台） ■H32：小学校6校…246台（各校41台） 【大型モニター】 ■H31：小学校 20台 ※以降、計画的に導入 ・学校における防災教育（防災訓練）及び関係者研修会の実施 ・地区防災訓練への参加  関連：[11]小中一貫教育拡大の方向性の検討  ・学校における計画的キャリア教育の実施 ・課外活動（青少年科学の祭典への出展等）への参加  ・職場体験、職場見学の実施 ・各種地域活動への参加  関連：[23]国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用の推進  ・文化財愛護かるた大会の実施（文化財愛護協会主催） ・鹿嶋こども歴史探検隊の実施（文化スポーツ振興事業団主催）  ・イングリッシュラウンジ、鹿島学園留学生英語交流授業等 ・日本語スピーチコンテストにおける生徒審査委員 ・プリティッシュヒルズでの英語研修（中学2・3年生40名）  ・姉妹都市韓国西帰浦市中学生とのホームステイによる相互交流（中学2年生18名） ・オーストラリア派遣（中学生1～3年生12名）	10,799	総務就学課
	(6) キャリア教育の推進			
	① 小中連携による9年間を見通した組織的系統的なキャリア教育の推進			
	② 職場見学・職場体験活動を通じた郷土資源の再発見			
(7) 郷土理解教育と国際理解教育の推進				
① 郷土理解教育の推進				
② 国際理解教育の推進				
③ 地域間・国際交流事業の実施				

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当	
2 豊かな学びを支える教育環境づくり	(1) 安心・安全・快適に学べる教育環境の整備	<b>[7]教育施設の整備</b> (1)①② 安全、安心、快適な教育施設をめざし「鹿嶋市公共施設等総合管理計画」・「鹿嶋市教育施設等の中長期改修計画及び整備計画」に基づき計画的に施設整備を推進します。 ■まちづくり市民センター改修：屋根、外壁、雨樋、軒裏、外壁、ケーブル ■勤労文化会館改修：エアコン、トイレ洋式化(28室) ■鹿島中学校大規模改修実施設計 ■4中学校(鹿島・高松・平井・大野)の普通教室等エアコン整備(70室) ■大同西小学校及び大野中学校の学校プールの解体撤去 ■小中学校の机・椅子の計画的な入替え：小学校1,2年・中学校1年生)	108,229 137,225 24,442 242,342 35,200 41,643	教育施設・総務就学	
	① 公民館、図書館等の社会教育施設の改修・整備				
	② 小中学校大規模改修の計画的な実施				
	③ 安定的な学校給食の提供と給食センター機能の充実	<b>[8]給食センター改修事業</b> (1)③大野中学校給食調理室の老朽化に伴い、現給食センターの増設や新設等、将来の児童生徒数を見据えた給食センター整備に向けた調査を実施します。 ■既存施設の課題の抽出及び整理(将来の給食ニーズと給食センターの対応食数の見込み) ■現センターの増築と新たな施設の整備についての比較検討 ■アレルギー食対応の調査	—	給食センター・教育施設	
	④ 鹿嶋市教育・保育施設設備整備方針に基づく幼児教育施設の整備				
	⑤ 学校体育で利用可能な温水プールの新設	・名称を「いきいきゆめプール」とし、31年4月オープン。5つの学校プール授業を優先し、施設の空き時間を一般に開放。			スポーツ推進・教育指導・総務就学
	⑥ いじめ対策の拡充と相談機能の充実	・「いじめ問題対策委員会」「いじめ問題等連絡協議会」の適時開催			
	⑦ 市採用教職員等の適正配置	・市採用教職員(10名)、AT(28名)、TT(13名)専科担当講師(7名)の配置			
	⑧ 鹿嶋市教育会が実施する児童生徒対象事業への財政的支援	・鹿嶋市教育会事業補助金(○教員研修、体育・文化活動支援 ○校外学習：キャンプ、修学旅行等1千円/小6年生 1.5千円/中1年生)○部活動全国大会及び関東大会参加事業500千円/校)			
	⑨ 情報機器活用場所拡大のための環境整備	関連：[6]ICT教育環境の充実			
(2) 一人ひとりの特性に目をむけた特別支援教育の充実	<b>[9]きめ細やかな教育の実施、支援員の配置</b> (2)① 児童・生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導を図るために、必要に応じてアシスタントティーチャー等を配置します。 ■アシスタントティーチャー 27名配置(小学校) ■看護師 1名配置(小学校)	52,676	総務就学		
① 特別支援教育の推進のための指導・支援体制の充実				教育指導・教育センター	
② 特別支援教育に関する教職員の専門性の向上	<b>[10]早期からの一貫した教育相談体制の充実</b> (2)①②③④2(6)① 特別な支援を必要とする子どもたちの障がいの状態や発達段階、特性などに応じて、よりよい環境を整え、適切な支援体制を整えることが必要であるため、教育センターの就学相談員が、市内公立・私立全園の年中児以上の未就学児を対象に巡回相談を実施し、「個別的教育支援計画ファイル」の作成、活用しながら、小学校から中学校、さらに高校以降もつなく教育相談体制の充実を図ります。 ■就学相談員4名配置 ■就学相談・訪問教育相談の実施(公立・私立すべての幼児教育施設) ■個別的教育支援計画・個別の指導計画作成率100%	28,721			
③ 連続性のある多様な学びの場と支援の充実					
④ 障がい児保育の実施					

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
2 豊かな学びを支える教育環境づくり	(3) 地域の実情に配慮した特色ある学校づくりの推進	<b>[11]小中一貫教育拡大の検討</b> (3)②小学校から中学校へのスムーズな移行及び9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」が育まれることを目的として小中一貫教育を推進します。 ■高松小中一貫教育の成果と課題を踏まえた支援拡充 ■小中一貫校推進委員会での導入地区の検討 ・設置年度の決定、選定方針の決定	171	総務就学
	① 特色ある学校教育の推進			
	② 小中一貫教育の推進	<b>[12]小中学校通学区域の見直し</b> (3)③平成32年度からスタートする「(新)小中学校通学区域」を市民へ周知し、児童生徒が円滑な学校生活を送ることができるよう努めます。 ■基本方針 ・同一行政区の児童は同一学校とする。 ・同一小学校卒業の児童は同一中学校とする。 ■H32年4月からの通学区域の市民周知及び新入学通知等	—	総務就学
	③ 通学区検討委員会による通学区の検討			
	④ 情報の提供や広報活動・ホームページの充実	<b>[13]教育に関する積極的な情報発信</b> (3)④現在、社会教育分野に限らず、学校教育分野においても地域とともに教育施策を進めることが求められていることから、積極的に関連情報を収集し、さまざまな媒体を通じて、各種教育情報を市内外へ随時発信します。 ■「教育かしま」の充実 ■教育委員会HPの充実(教育委員会会議録の掲載含む)	138	教育総務
	⑤ 学校評価の充実			
	⑥ 学校活動における社会人ボランティアの活用	<b>[14]学校支援ボランティア活動の推進</b> (6)④③ 近年学校運営にあたり地域との連携が求められています。他方、学校教育現場においては、通常授業以外の業務(部活、環境整備や安全対策など)を多く抱える中、教職員の働き方改革の推進が求められています。この状況を踏まえ、「学校支援ボランティア」制度を推進し、地域全体で学校を支え、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めていきます。また、より多くの方、広範囲の分野においてボランティア登録がされ、学校において活用が図れるよう努めていきます。 ■ボランティア登録者数(170人) ■学校の延べ活用回数(1,000回) ■学校支援コーディネーター研修会(1回/年)	600	社会教育
	(4) 教職員の資質と指導力の向上	関連：2(6)③  関連：2(6)④ ・勤休管理システムの導入  ・校内コンプライアンス委員会の定例開催		総務就学指導・教育センター・
	① 意欲と指導力のある教職員の指導・育成			
	② 内地留学研修や教育論文などの参加への支援			
	③ 教職員の負担軽減に向けた取り組みの推進			
	④ 校内コンプライアンス委員会の充実			
	(5) 読書活動の推進	<b>[15]ハイブリッド図書館の充実</b> (5)①平成30年1月に開設した電子図書館の充実を図るために電子コンテンツを増やすとともに、紙媒体の図書において、古くなった分野の積極的な除籍を行い、書架に新鮮味をもたせて新鮮味のある書架とすることで利用促進につなげていきます。 ■電子コンテンツ 200増 ■新年度電子図書館貸出数目標 1,000件	8,000	中央図書館
	① 学校図書館と中央図書館の連携による読書活動の推進			
	② 図書館基本計画等の推進	<b>[16]学校図書館の充実</b> (5)①②学校図書館における標準図書数の確保を図るとともに学校図書館と公共図書館の積極的な人事交流を図るとともに研修会等を実施し、子どもの読書推進につなげていきます。また、具体的な読書活動の施策指針を定めた「第二次鹿嶋市子ども読書推進計画」を策定します。 ■合同研修会の開催(2回/年) ■「第二次鹿嶋市子ども読書推進計画」の策定	—	中央図書館 総務就学
	(6) 教育センターの機能の充実			

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (重点施策)	予算額 (千円)	担当
2 豊かな学びを支える教育環境づくり	① 幼児、児童・生徒、保護者、教職員の相談・支援活動の充実	<b>[17]不登校・長欠解消支援の充実</b> 2(6)①②③④ 不登校を含む長欠児童生徒が増加することは学校教育の根幹に関わる重大な問題であるため、適応指導教室「ゆうゆう広場」において、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子育てに不安を抱えた保護者の相談にも対応するなど、不登校・長欠解消支援の充実を図ります。 ■適応指導教室相談員4名配置 ■不登校等対策連絡協議会 ■長欠児童生徒：小学生1%以下・中学生5%以下 ■スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー活用事業 ■不登校児童生徒の適応指導に関する研修生配置 ■児童虐待に係る福祉部門との連携強化	28,721	教育指導 教育センター
	② 不登校、長欠対策の支援			
	③ 教職員研修・研究の充実			
	④ 教育指導員・各相談員による効果的な学校支援体制の確立			
	⑤ 教育情報の発信と教育関係資料の収集			
3 子育てのための家庭教育への支援	(1) 家庭教育に関する学習機会の充実	<b>[18]家庭教育支援体制の構築（家庭教育力向上推進事業）</b> (1)①②(2)①② 既存の家庭教育事業を継続するとともに、平成29年度から開始した訪問型家庭教育支援等の幅広い支援を行う家庭教育支援体制を構築し、家庭や子どもを地域で支える取り組みを推進、強化します。 ■訪問型家庭教育支援 ・地域の子育て経験者等（元幼稚園教諭、民生委員、元家庭相談員等）で家庭教育支援チームを組織し、対象全家庭（小1のことも家庭）への訪問及び個別の相談に応じた情報提供 ■子育て講演会（対象：小中学校の就学時健診時の保護者） ■家庭教育を考える集い （対象：PTA、学校、青少年育成団体、まちづくり委員等） ■メディア講習会（対象：中学校入学予定保護者等）	1,218	社会教育
	① 家庭・学校・地域が連携した子育て支援ネットワークづくりの推進			
	② 親のための学習活動支援の充実			
	(2) 家庭教育、子育てに関する相談機能の充実			
	① 療育会議の実施と相談支援担当者の情報の共有化及び継続支援			
② 保健センター、児童福祉部門と連携した教育相談機能の充実				
地4 域様の々教な育学力びのを向通した地域づくりと	(1) 社会教育の充実と多様で主体的な生涯学習活動の推進	<b>[19]放課後子ども総合プランの推進</b> 4(2)② 放課後児童クラブにおいて、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校児童に対して、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し指導・援助を行い、子どもたちを心身ともに健やかに育てていきます。 放課後子ども教室は、授業終了後の安心な居場所づくりと安全な下校を目的として開設します。また、休日子ども教室は、地域の人との交流やさまざまな体験活動を行います。 ■放課後児童クラブ 市内全12小学校で開設（小学校1～6年生を対象） ■放課後子ども教室 市内10小学校で開設（小学1～3年生を対象） ■休日子ども教室 市内10地区公民館で開設（小学1～6年生を対象）	191,314	社会教育
	① 学習に取り組める場と学習機会の充実			
	② 能力や経験が生かされる仕組みづくり			
	③ 社会教育関係団体への支援			
	③教員専門職化、若手育成、AT等の研修 ④情報共有化による学校支援 ⑤有益な情報の収集及びタイムリーな発信			タ教育 教育 セ指 ン導

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
4 様 々 な 学 び を 通 し た 地 域 づ く り と 地 域 の 教 育 力 の 向 上	(2) 学校・公民館を核とした地域コミュニティの形成	<b>[20]各公民館まちづくり事業の充実</b> ①④ 地区まちづくり委員会への地域のまちづくり活動(公民館活動)の委託により、地域住民が求める学習機会の提供や地域の課題に応じた活動など、地区公民館を活動の拠点とした取り組みが実践されています。 こうした中、まちづくり連絡協議会と連携してまちづくり講座やまちづくり市民大会などで学習した成果を地域に還元する特色ある地域づくり事業(モデル事業)を実施します。また、それらの事業が子どもから高齢者まで世代を超えた幅広い交流や地域の絆づくりにつながるよう支援します。 合わせて市民センターで実施する事業を効果的・効率的に推進します。 <b>■まちづくり研修会の開催(1回)</b> <b>■まちづくり講座の開催(3回)</b> <b>■まちづくり市民大会の開催(1回)</b> <b>■特色ある地域づくり事業(モデル事業)の実施</b> <b>■公民館まつりの開催(全地区対象)</b> <b>■住民体育祭の開催(全地区対象)</b> <b>■夏まつりの開催</b> <b>■職員の階層別研修・情報交換会の実施</b>	19,088	中央公民館
	① まちづくり委員会活動の支援			
	② 子どもたちの居場所づくり事業の実施			
	③ 子どもや若者の地域参加の促進			
	④ 公民館まつり等の実施			
	(3) 生きがいづくりにつながる文化的活動の促進	<b>[21]文化芸術の振興</b> 文化芸術分野において、創作者・活動者へ作品や活動の発表の場を提供し、その意欲を高めるとともに、鑑賞機会として多くの市民が芸術・文化に親しむ場を提供していきます。新たな人材については、情報を幅広く発信することで高校生など若い世代の作家の発掘に取り組んでいきます。 また、オリンピック鹿嶋市開催を契機に、関係団体等と連携して芸術文化活動の充実、芸術文化に関わる人材の育成を図ります。 <b>■市美術展覧会の開催</b> <b>■市芸術祭の開催</b> <b>■市文化フェスティバルの開催</b> <b>■地区公民館まつり、まちづくり市民センターまつりへの参画</b>	2,807	社会教育・中央公民館
	① 芸術祭・市美術展等の発表の場の拡充			
	② 生涯学習活動団体の支援・育成			
	(4) 市民ぐるみで行う青少年健全育成の推進	<b>[22]青少年の体験・健全育成活動の推進</b> ①② 集団生活の中で体験活動を通して、生きる力、忍耐力、自立心、協調性などを養い、青少年の心の豊かさやたくましさを育むため、フロンティア・アドベンチャー事業による体験活動・体験学習を実施します。 子どもは10歳頃から知性が急速に発達し、自然や社会現象に対して好奇心を抱き、疑問を持つようになります。この子どもの好奇心や疑問に応え、知的な世界を開くため、「かしま子ども大学」を開講します。 <b>■フロンティア・アドベンチャー：10泊11日(小学5～6年生対象)</b> <b>■かしま子ども大学 7講座開催(小学4～6年生対象)</b>	2,807	社会教育
	① 子どもの学びを地域で支える仕組みづくり			
	② フロンティア・アドベンチャーなどの青少年の交流と活動の促進			
	③ 青少年相談員活動の充実			
④ メディアリテラシー教育の推進・情報モラルの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心とからだの講演会 中学生対象(1回)</li> <li>・青少年相談員(約50名)による街頭指導等</li> </ul>		社会教育	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア教育講演会 中学入学予定者保護者(1回)</li> </ul>			



# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
5 伝統文化・芸術の振興	(1) 豊かな感性を育む芸術文化に親しむ機会の提供	関連：4(3)  ・文化スポーツ事業団への補助 ・第5回鹿嶋市第九交響曲コンサートの開催 ・学校における芸術文化事業の招へい		社会教育
	① 勤労文化会館等を活用した事業の充実			
	② 学校、施設等の様々な場所で芸術に親しむ機会の提供			
	(2) 歴史、文化遺産(有形・無形)の保存・保全と継承	<b>[23]国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用の推進</b> ① 鹿嶋市の有する貴重な史跡である「鹿島神宮境内附郡家跡」の整備・活用の指針として策定した保存活用計画を基に、平成31年度から2か年で基本計画を策定します。 <b>■史跡整備検討委員会における基本計画の策定</b>	10,398	社会教育
	① 国・市指定の史跡の整備	・公有地の維持管理 ・ミニ博物館(ココシカ)の運営委託		
	② 歴史資料の収集と地域資源の保存と活用	・祭頭囃保存会等の支援 ・指定文化財への補助		
③ 伝統文化の保護と継承	関連：[23]国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用の推進  ・鹿嶋子ども歴史探検隊事業の実施 ・各公民館における史跡、名所めぐり等の実施		社会教育・中央公民館	
(3) 郷土に誇りをもてる学びの推進	・「どきどきセンター」「ココシカ」「はまなす郷土資料館」の充実 ・鹿島神宮境内附郡家跡史跡(神野向遺跡)の整備			
6 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(1) 幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進	<b>[24]スポーツ活動、スポーツを通じた交流の推進</b> (1)①②③④(2)①② スポーツコンベンションの推進のため、関係機関と連携し観光・地域資源を活用した大会・会議を誘致します。2019年茨城国体や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機運を生かした記念事業の開催。さらに、各種団体が行うスポーツ・健康づくりの取り組みを通して成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目指し、スポーツ振興を図ります。 また、スポーツ推進委員による健康スポーツの普及、スポーツ指導者の育成等を行います。バラスポーツを中心に障がい者スポーツの指導者養成プログラムをスポーツ指導者養成講座に盛り込み推進を図るとともに、施設利用についても積極的に推進します。 <b>■「鹿嶋サッカーフェスティバル」</b> 、「塚原ト伝杯武道大会(柔道の部、剣道の部)」 <b>■「アントラスカップかしまビーチサッカー大会」</b> 、「駅伝大会」 <b>■「エンジョイスポーツin鹿嶋」「スポーツコンベンション」等の開催</b> <b>■「地区健康づくり事業」</b> 、「子どものトレーニング教室」等の開催 <b>■障がい者指導者の養成講座及び障がい者が参加できるスポーツ教室の開催。</b> <b>■スポーツカレッジ(10講座)の開催</b> <b>■「かしま SPORTS NAVI」の運用</b>	21,353	スポーツ推進
	① スポーツ事業の開催と機会提供			
	② スポーツ情報の発信			
	③ 障がい者スポーツの推進			
	④ スポーツによる国際交流の推進			
	(2) スポーツ団体の育成支援と指導者の育成	<b>[25]平成31年度茨城国体の開催・スポーツ環境の整備充実</b> (3)①② 第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)の開催へ向けて計画的に施設整備を行うとともに、スムーズな開催運営を目指し、各種団体との連携を強化し運営体制を確立するとともに、大会関連情報のPRに努めます。 また、いきいきゆめプールの指定管理者と調整を図り、安定した施設の運営に努めます。 <b>■国体各種運営体制の確立</b> <b>■国体開催PR</b> <b>■ト伝の郷多目的球技場、高松緑地公園多目的球技場、北海浜多目的球技場、新浜緑地多目的球技場への仮設スタンド設置</b> <b>■北海浜多目的球技場駐車場の整備</b>	141,480	国体推進室・教育施設
① スポーツ団体の育成支援				
② スポーツ指導者の育成と確保				

# 平成31年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

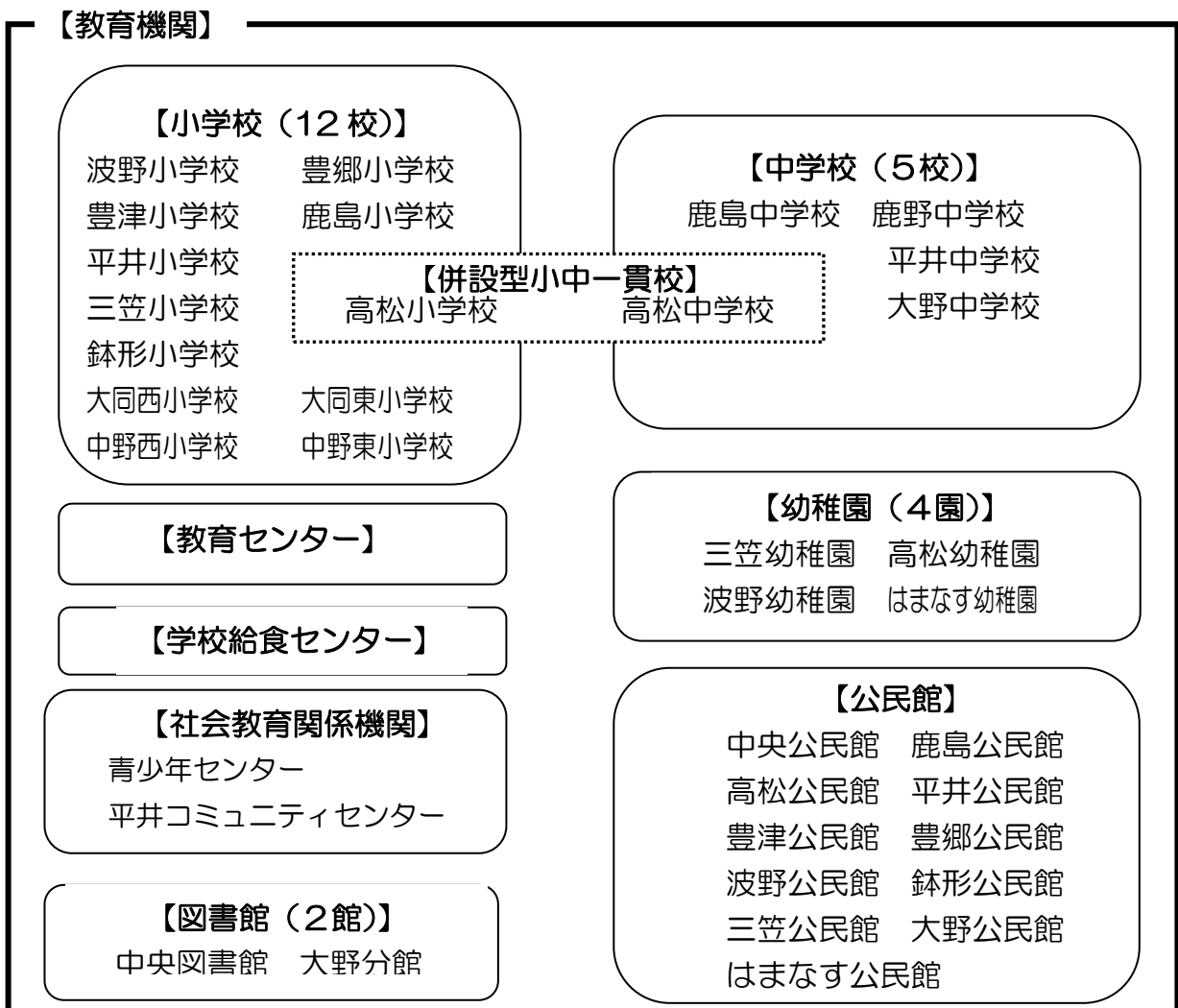
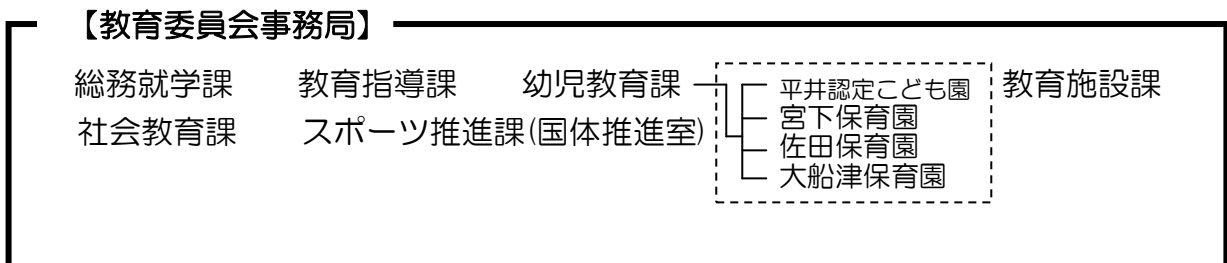
第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
	(3) スポーツ環境の整備・充実	<b>[26]カシマスポーツセンターの改修</b> ① カシマスポーツセンターは、築22年が経過し、老朽化が進み、特に近年はエアコンや屋根の雨漏り等の不具合が散見される状態にあります。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、メディアセンターとして利用されることから、メインアリーナ及びサブアリーナの改修を行います。 ■改修内容 ・空調、給湯設備改修 ・トイレ洋式化改修(オストメイト含む) ・メインアリーナ照明LED化等 ■屋根改修(平成31年度～平成32年度) ・1期工事 メインアリーナ・サブアリーナ(168,113千円) ・2期工事 トレーニング室・弓道場(82,148千円)	246,780	教育施設
	① 広域的な大会に対応できる施設整備		250,261	
7 教育における今日的な課題への対応	(1) 教育と福祉が連携した子どもたちへの支援	関連：2(6) 3(2) [18]家庭教育力の向上  ①訪問型家庭教育支援事業の展開 ③福祉担当部署と連携した「ケース会議」の開催		ン教育 ↑指 ・導 社・ 会教育 セ
	① 子どもや家庭に対する早期からの相談支援体制の充実			
	② 学びを支える経済的支援の充実			
	③ 不適切な養育から子どもを守る取り組みの充実・強化			
	(2) 主権者教育、消費者教育の推進			
① 主体的に政治的参加意識を高める主権者教育の実践				
② 消費者としての自立を促す消費者教育の推進				
		<b>[27]奨学金制度の充実</b> ② 平成8年度より高塚奨学基金を財源に年30人、貸付額及び返還額総額3千万円/年程度の奨学金の貸与事業〔15～30千円/月(高校、高専、大学、短大、専修学校)償還期限10年以内〕を行っています。就職難等により卒業後に返還できる収入を確保できない人の増加や貸与額が他の制度と比べて低いこと等の問題が提起されています。貸与額の見直しや返還期間の見直し、給付型奨学金、修学ローンへの利子補給制度など新しい制度を調査研究するとともに、個別訪問等を含めた滞納対策を推進します。 ■奨学金制度改革へ向けた検討(情報収集並びにシュミレーション) ■滞納の解消(TEL、通知及び訪問による督促) (新規貸与内定数) 27人 (貸与中人数) 66人 貸与総額 160,631千円 (返還中人数) 183人 (滞納人数) 11人 滞納総額 4,092千円 (平成31年2月末日現在)	888	総務就学
		<b>[28]「鹿嶋市教育大綱」及び「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」並びに「鹿嶋市教育行政運営方針」の進行管理</b> 平成28年3月に「鹿嶋市教育大綱」および「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」を策定しました。「鹿嶋市教育大綱」は鹿嶋市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策・方針をまとめたものであり、教育振興基本計画は大綱を踏まえ、平成37年度までの10年間に取組む鹿嶋市の具体的教育施策を示しています。さらに、「教育振興基本計画」の年度計画を「鹿嶋市教育行政運営方針」として取りまとめ、目標や施策を明確化し、計画的に事業を推進します。なお、事業の進捗状況について大学教授を含めた有識者等で構成する外部評価委員会による「教育行政評価」を行い事業を検証します。併せて、市長と教育委員会(教育長と教育委員)による総合教育会議を定期的開催し、鹿嶋市の教育行政の方向性について共通理解を深めてまいります。 ※教育大綱…「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定により首長が教育委員会と協議のうえ定めることとされた、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱 ※教育振興基本計画…教育基本法第17条第2項において、国が定める教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じ、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を策定について努力義務が規定されている。 ■教育行政運営方針の策定 ■教育行政評価の実施	125	総務就学

## <参考資料>

### 1 鹿嶋市教育委員会委員名簿（平成31年4月1日現在）

教育長	川村 等
委員（教育長職務代理者）	岡見 文彦
委員	信樂 愨
委員	原 キミ
委員	大槻 啓子
委員	大崎 千帆

### 2 鹿嶋市教育委員会行政組織



### 3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設</li> <li>• 鹿島小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる</li> </ul>
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成16年度を初年度とした10年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画を策定</li> <li>• 三笠小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる</li> <li>• まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターを設置</li> <li>• 友好都市である中国塩城市、姉妹都市である韓国西歸浦市と中学生の派遣交流を開始</li> </ul>
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 読書する機会をつくるとともに関心を高めるために、鹿嶋市読書感想文・感想画コンクールを実施</li> </ul>
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校教育法一部改正</li> <li>• 全市的な英語活動を推進するため、レシピ方式による英語活動のモデル校として波野・豊津・中野東小学校を指定し、同方式を導入</li> <li>• 中学生海外派遣交流事業では、中国及び韓国に、オーストラリア（カラウンドラ市）を加えた3カ国との交流を実施</li> <li>• 第18回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006 in 鹿嶋」を開催</li> <li>• 生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開講</li> <li>• 学力向上に向けた夏季休業日の3日間短縮開始</li> </ul>
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育行政の充実を図るために、教育委員会事務局部長に民間人を採用</li> <li>• 教職員の資質向上と市民の教育に関する関心を高めるために、鹿嶋師範塾を設立し、各種講座を開設</li> <li>• 小学校での英語教育の充実を図るため、鹿嶋英語教育特区の認定を受ける。併せて、レシピ方式による英語活動を鹿島・三笠小学校以外の小学校に導入</li> <li>• 中学校英語教諭の海外派遣研修を実施</li> <li>• 学校図書館の充実を図るために、専任の学校図書館司書を波野小学校に配置</li> <li>• 幼稚園6園、大野中学校を除く小中学校16校に給食を供給する新学校給食センターが稼働</li> <li>• 学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更</li> </ul>

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三笠小学校の余裕教室を活用した三笠まちづくりセンター（公民館）開館</li> <li>• 放課後子どもプランスタート</li> </ul>
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会教育法，図書館法一部改正</li> <li>• 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正</li> <li>• 個別指導の充実を図るために，小学校第1学年での少人数学級編制の実施</li> <li>• 専任の学校図書館司書を，三笠小学校及び大同西小学校を加えた3校に配置</li> <li>• 小学校での英語教育の充実を図るため，レシピ方式による英語活動を全小学校に導入</li> <li>• 中国四川省大地震の発生によって，学校施設耐震化計画を見直し，完了年度を3年早め，平成23年度に変更</li> <li>• 豊津小学校耐震化工事完了</li> <li>• 第23回 国民文化祭・いばらき2008「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」を開催</li> <li>• 公民館年間延べ利用者が30万人を超える</li> </ul>
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 少人数学級編制を小学校第2学年まで拡大</li> <li>• 専任の学校図書館司書を，高松小学校を加えた4校に配置</li> <li>• 教育基本計画を見直し，平成21年度からの5年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画（後期）を策定</li> <li>• 小学校での英語活動の充実を受け，中学校での英語科教育の研究を行うため，鹿野中学校をモデル校として指定し，中学校でのコミュニケーション英語のカリキュラムの検討を実施</li> <li>• 市独自に小学校専科担当非常勤講師を2名配置</li> </ul>
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前年度の鹿野中学校での研究を踏まえ，中学校全校でコミュニケーション英語を取り入れた授業の展開</li> <li>• 鹿島・高松・平井・中野東小学校，鹿島・鹿野中学校の6校耐震化工事完了</li> <li>• 平成23年3月11日東日本大震災</li> <li>• 専任の学校図書館司書を，中野東小学校及び平井小学校を加えた6校に配置</li> </ul>

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三笠小学校, 大同東小学校, 大同西小学校, 中野西小学校, 高松中学校の5校耐震化工事完了</li> <li>• 東日本大震災により第二幼稚園園舎が被災したため, 第五幼稚園で合同保育,高松小学校敷地内に第二幼稚園舎を新築復旧</li> <li>• 大野ふれあいセンター開館</li> <li>• 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム完成・スタート</li> <li>• 専任の学校図書館司書を, 中野西小学校及び鹿島小学校を加えた8校に配置</li> </ul>
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム改訂版作成</li> <li>• 学校内研修体制の確立と指導主事による研修支援</li> <li>• 小中英語連携によるコミュニケーション英語カリキュラム作成による各校完全実施</li> <li>• 小学校「国算理鹿嶋市独自学力テスト」作成・実施</li> <li>• 大野中学校校庭拡張工事実施</li> <li>• 小学校の学力は, 平成23年度から県・国とも全国平均を越えているが学校間格差は出始めている</li> <li>• 鹿嶋市子ども議会開催(小学生対象)</li> <li>• まちづくり市民センターと大野ふれあいセンターに太陽光発電設備設置</li> <li>• 学校防災推進委員会の設置, 各学校で防災訓練等の取組み開始(筑波大の協力)</li> <li>• 専任の学校図書館司書を, 豊津小学校及び豊郷小学校, 大同東小学校, 鉢形小学校を加えた12校全てに配置</li> </ul>
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域における幼・小・中連携行事の推進</li> <li>• 青森県五所川原市との小学5年生交流(派遣)</li> <li>• 中学生9泊11日のカナダ英語研修(ホームステイ)</li> <li>• 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始</li> <li>• 小学校にタブレットの導入(6校)</li> <li>• いじめ問題等対策委員会規則制定</li> <li>• 英語習熟度テストの導入</li> <li>• 児童生徒交友関係テスト</li> <li>• 幼・小・中学校に扇風機設置</li> <li>• 小・中学校のトイレ洋式化</li> <li>• 専任の図書館司書を中学校図書館として始めて高松中学校に配置</li> </ul>

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鹿嶋市いじめ基本方針の策定</li> <li>• 平成18年度から始めた夏季休業日の3日間短縮を従来どおりに戻す。</li> <li>• 通学区域再編に向けた検討準備委員会の開催</li> <li>• 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクト継続</li> <li>• 児童生徒交友関係テスト（ハイパーQ Uテスト）の実施</li> <li>• 鹿嶋市子ども議会開催（中学生）</li> <li>• 中学校図書館整備と図書館司書配置（平井中・鹿野中）</li> <li>• 青森県五所川原市との小学5年生交流（受入）</li> <li>• 中学生9泊11日のカナダ英語研修とホームステイ</li> <li>• 小学校にタブレットの導入（6校）※全小学校導入完了</li> <li>• 学校給食費の改定と口座振替開始</li> <li>• 平井認定子ども園の開園に伴い、平井幼稚園を閉園</li> </ul>
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正(総合教育会議，教育長と教育委員長の統合等)</li> <li>• 教育総合会議の開催及び鹿嶋市教育大綱(平成28年度～平成33年度)の策定</li> <li>• 第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画(平成28年度～平成37年度)策定及び公表</li> <li>• 市長部局(市民協働部)にて補助執行していた社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を教育委員会事務局内に戻す。</li> <li>• 学校との共催によるフロンティア・アドベンチャー事業の実施</li> <li>• 青森県五所川原市との小学5年生交流（派遣）</li> <li>• 様々な異文化，国際理解教育の推進（英語研修施設での短期集中実践研修，イングリッシュラウンジの開催，鹿島学園留学生の中学校への交流事業）</li> <li>• 改正前地方教育行政法に規定による教育長が辞任し，新教育委員会制度へ移行</li> <li>• 放課後児童クラブ開設数21クラブ(鹿島小1増，三笠小1増，波野小1増)</li> <li>• 2019年茨城国体開催に向けサッカー場整備計画策定</li> <li>• 高松公民館改築工事完了(鉄骨平屋建て660㎡，非常用発電機設置)</li> <li>• 中央図書館の環境改善工事(トイレの段差解消,乾式化及び洋式化)</li> <li>• 教育センターを開設し学校教育全般を支援する体制を構築する。あわせて適応指導教室を統合することにより連携のとれた各種相談事業を展開する。</li> </ul>

<p>平成28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小中学校一貫教育検討委員会の開催(高松小中学校をパイロット校として平成30年4月開校に向け準備)</li> <li>• アプローチ・スタートカリキュラムの改訂</li> <li>• 青森県五所川原市との小学5年生交流(受入)</li> <li>• 様々な異文化, 国際理解教育の推進(英語研修施設での短期集中実践研修, イングリッシュ라운ジの開催, 鹿島学園留学生の中学校への交流事業)</li> <li>• 平成32年度(鹿嶋市は30年度)小学校における英語必修化に向けた学級担任主体の英語授業への展開</li> <li>• 学校図書館整備事業(鹿島中, 大野中の整備 ※全校完了)</li> <li>• 鹿島小学校(北校舎・南校舎)及び鹿野中学校体育館の大規模改造事業</li> <li>• 放課後児童クラブ開設数23クラブ(鹿島小1増, 豊郷小1増)</li> <li>• 学校支援ボランティア制度の事業開始</li> <li>• 国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用計画の策定(3カ年)</li> <li>• 青少年のための科学の祭典鹿行地区大会の開催</li> <li>• 企業と連携した子どもの体験型情操教育(鹿嶋っ子夏フェス)</li> <li>• 勤労文化会館の第2期大規模改修事業(A棟の外壁等工事)</li> <li>• 観光と連携し地域資源を利活用したスポーツ大会の開催(ビーチラン, ビーチサッカー大会等)</li> <li>• 2019年茨城国体開催に向けサッカー場の整備(北海浜多目的球技場:天然芝敷設10,350㎡ 駐車場5,276㎡)</li> </ul>
<p>平成29年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新学習指導要領への移行準備(小学校英語教科モジュールカリキュラムの作成, プログラミング教育に関するICT研修の実施等)</li> <li>• 就学前教育及び家庭教育の推進(家庭教育力向上推進協議会の開催と訪問型家庭教育支援事業の実施)</li> <li>• 鹿嶋市いじめ防止基本方針改定</li> <li>• 国際理解教育の推進(英語実践研修, 姉妹都市交流)</li> <li>• 教育環境整備(鉢形小及び鹿野中校舎の改修・エアコン設置, 鹿島小普通教室等へのエアコン設置)</li> <li>• 小学校5・6年生, 中学校3年生の机・椅子更新</li> <li>• 放課後児童クラブ開設数24クラブ(大同東小1増)</li> <li>• 電子図書館の開設</li> <li>• 公民館における福祉分野への支援</li> <li>• 各種スポーツイベントの開催(ビーチサッカー, 駅伝等)</li> <li>• 2019年茨城国体開催に向けた運営組織並びに会場を整備(ト伝の郷運動公園:人工芝張替え約40,000㎡, 照明, 観覧席等)</li> </ul>



<p>平成 30 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高松小学校 高松中学校一貫教育がスタート</li> <li>• 小学校英語教科化を先行実施（小学校5学年・6学年）</li> <li>• モジュール学習を導入</li> <li>• オリパラ夢先生派遣事業（2ヵ年）をスタート</li> <li>• 通学区域見直し案を策定</li> <li>• 市立幼稚園3園（保育室）並びに 10 小学校（普通教室等）にエアコンを設置</li> <li>• 国体へ向け、高松緑地内の多目的球技場の改修及びクラブハウスの新設並びに高松緑地体育館を解体撤去する</li> <li>• 小学校3・4年生，中学校2年生の机・椅子更新</li> <li>• 放課後児童クラブ開設数 24 クラブ（大同東小1増）</li> <li>• 公民館へ地域レベルでのオリンピックの機運醸成へ向け、展示ブースを設置</li> <li>• 国体プレ大会（全国社会人サッカー大会）を開催</li> <li>• 各種スポーツイベントの開催（ビーチサッカー，駅伝等）</li> <li>• 大野区域屋内温水プール（「いきいきゆめプール」）が完成</li> </ul>
-----------------	--





